

—令和元年(平成31年)度浄土宗人権センター活動報告—

1. 浄土宗人権センター

平成28年度に、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に対応するため、浄土宗教化研修会館内に設置いたしました浄土宗人権センターは、浄土宗の機構改革に伴って、平成31年3月31日をもって閉室した人権同和室を中心に行っていた人権啓発等の活動を引き継ぎながら、平成31年4月1日より新たな体制で活動しております。

今後も、さまざまな人権問題に対応するために、引き続き啓発活動等に注力してまいります。

2. 浄土宗差別戒名物故者追善法要

平成26年度までの差別戒名物故者追善法要は、「僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を図るため」として、平成8年から19回に亘り地方教化センターの協力を得て厳修してきました。

しかし近年では、差別戒名墓石の関係者である寺院住職、継承者の出席が減少し、出席者の多くは役職として出席している方々が多い傾向になっている状況でありました。



センターによる差別戒名物故者追善法要

平成27年度からは、より多くの教師にご参加いただけるように各地方教化センター開催の教化高等講習会に併修しておこなっていただくようにしました。その際に人権研修をおこない差別戒名物故者追善法要を通して、僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を図ることを目的としております。令和元年度は6地方教化センターで延べ676名の参加をいただき、多くの教師に懺悔の誠を捧げていただきました。

また、法要と併せておこなっていただいた人権研

修会につきましては、浄土宗人権同和啓発講師による「差別戒名について」と題しての講演を受講していただき、広く部落問題に起因する差別戒名問題について研鑽していただきました。

すでに法要が一巡している北海道、北陸地方教化センターでは、法要はありませんでしたが、引き続き人権啓発研修会が行われ、さまざまある人権課題の中から、浄土宗人権同和啓発講師により講演が行われました。

今後、地方教化センターでの法要は順次終了していくことから、人権啓発研修会の実施を引き続きお願いするとあわせて、教区での法要厳修をお願いいたします。



人権研修会の様子

3. 差別戒名墓石改正

本宗には、法然上人の万人平等の教えに反して、時代と迎合し「差別戒名」を付与するなど、差別に加担した消すことの出来ない恥すべき事実があり、差別戒名墓石の改正は、昭和58年の同和推進事務局（現 人権センター）の設置以来、長年取り組んでいる課題となっております。

取り組みの結果、関係者の理解のもと、供養塔の建立をはじめとした改正作業が多くの寺院で完了いたしました。

しかしながら、未だ5ヶ寺の改正が残っている状況ですので、令和2年度もさらに改正作業が進むよう積極的に取り組んでまいります。

4. 教区人権同和研修会開催及び差別戒名物故者追善法要厳修の勧奨

人権センターでは、教区での人権同和研修を推進するため、各教区に対して人権同和研修会開催の勧奨を行っています。多岐にわたる人権課題の中から、各教区において、研修するテーマを定めて、令和元年度は31教区において35回の研修を行っていただきました。

令和2年度につきましても、引き続き、人権同和研修会の実施をお願いいたします。

また、平成30年度より、各地方教化センターの協力を得て厳修しております教化高等講習会での差別戒名物故者追善法要につきまして、さらなるすそ野を広げるため、教区での差別戒名物故者追善法要の厳修をお願いし



佐賀教区差別戒名物故者追善法要

ており、本年度は、三河教区、佐賀教区におきまして、法要を厳修いただきました。

特に佐賀教区は、人権センターからの勧奨以前より法要を厳修されておられ、今回で27回目となります。

5. 教区人権同和委員長連絡会（平成31年2月15日） 浄土宗研修会館

平成30年度教区人権同和委員長連絡会を、浄土宗教化研修会館大ホールで開催。

事務連絡会では、機構改革後は浄土宗人権センターを拠点とし、浄土宗の人権啓発推進の態勢を一元化し継続していくことを報告いたしました。また、平成27年度よりセンター単位で開催いただきました差別戒名物故者追善法要及び人権研修会について、今後の方針および令和元年度の教区人権同和委員長連絡会において差別戒名物故者追善法要をにて執り行う予定であることなどを説明いたしました。それから、過去帳開示は身元調査であり、差別につながるため教区内寺院へ過去帳開示の禁止の徹底をお願いいたしました。



ハラスメントについて実例を交えて講演いただいた桑野先生

事務連絡終了後の研修では、有限会社ビズ・ネ・パートナー・オフィス代表取締役の桑野里美先生を講師に迎え「ハラスメントのない職場環境の実現にむけて～怒りの感情コントロールとは～」と題し、ご講演いただきました。桑野先生から多様なハラスメント防止のために、最低限とるべき適切な対応とは何かを、法律に沿って具体的に説明いただきました。最後にアンガーマネジメント・怒りの感情コントロールの仕方をご教示いただきました。

6. 人権同和啓発講師レベルアップ研修会（令和元年6月11～12日）

平成29年に、現在就任中の人権同和啓発講師（39名）に加え新たに29名の啓発講師が誕生しました。

そこで、新たに就任された啓発講師の基礎知識の向上を図るべく、3ヶ年にわたって年1回レベルアップ研修会を開催いたしており、本年が最終回となりました。

今回の研修では、大阪市鶴橋のコリアタウン周辺に住む、在日コリアンを中心とした外国にルーツを持つ人々への差別に関する研修をNPO法人多民族共生人権教育センターを会場に開催しました。



講義の様子



鶴橋コリアタウン近くの神社での
フィールドワーク

第1日目は、NPO 法人多民族共生人権教育センター事務局長の文公輝氏を講師に、第1講として「在日コリアンの歴史」として、朝鮮半島にルーツをもつ人々が、なぜ日本に住むことになったのか、どのような生活を送り、どのような差別をうけてきたのかについて講義をいただきました。また、第2講として、「外国にルーツをもつ住民の権利保障」について学びを深め、レイシャルハラスメント（人種や民族に基づくハラスメント）について、日常の会話を用例にしたがって説明を受け、自分自身がレイシャルハラスメントを行っていないかの気づきを得ることが出来た講義となりました。その後は、グループワークを通して、周りが気付かずにレイシャルハラスメントを行っていた場合の対応は、どのような対応が必要かを学ぶ機会となりました。

第2日目は、在日コリアンの方々が多く住まわれている鶴橋コリアタウンのフィールドワークを行い、前日の講義を踏まえ、朝鮮とのかかわり、のちにコリアタウンとなる鶴橋周辺に住むことになったのか、地域に受け入れられるまでの過程、現在の状況について学びを深めました。また、NPO 法人多民族共生人権教育センターに戻った後、実際に行われたヘイトスピーチの様子の報告を受け、ヘイトスピーチがいかに人権を侵害する行為であるかをご自身の経験から講義が行われました。

人権啓発講師レベルアップ研修会テーマ

- 平成29年度 奈良県・大阪府 「水平社博物館と大阪人権博物館現地学習会」
- 平成30年度 岡山県 「ハンセン病を正しく理解するために」
- 令和元年度 大阪府 「コリアタウンからみる多文化への理解」

7. 人権同和啓発講師研修会 (令和元年11月21日～22日)

令和元年度は、大阪市にて「子どもの人権」について学習を深めました。

1日目は、大阪教区教務所において、座学の研修を行いました。まず、皇學館大学准教授の吉田明弘先生を講師に、子どもの貧困問題について、現状について講義いただき、特にひとり親世帯における貧困率が高くなっており、子どもの貧困は、親（保護者）の貧困でもあり、非正規雇用の増加などさまざまな要因から貧困を考えなければならないとの提言がありました。



大阪教区教務所での講義

次に、にしなり☆こども食堂の川辺康子先生、多文化共生ネットワークエスパーサの青木幸枝先生から、それぞれの支援についての報告を受け、実際の経験を通し、子どもと向き合いながら支援を行うことの重要性について語っていただきました。

その後、2日目に訪問する「子どもの里」（大阪市西成区）を取り上げたドキュメンタリー映画を鑑賞し、学びを深めました。

2日目のフィールドワーク研修は、子どもへの支援の現場である「にしなり☆こども食堂」と「子どもの里」において行いました。

「にしなり☆こども食堂」では、食事をする部屋や調理場を見学、子ども食堂様子について、一日目に引き続き川辺康子先生から説明を受けました。

「子どもの里」では、代表の荘保先生から、子どもの里の活動の内容や、子どもたちの様子、親への支援の大切さ、地域で行うことの意義について説明がありました。

今回の研修では、金銭的・食料的な支援や食事の提供に留まらず、子どもやその親の一人ひとりと向き合う大切さを学ぶことが出来ました。

（次回、令和2年度：栃木県 開催予定）



子ども食堂の現状について説明
いただきました。



子どもの里でのフィールドワーク

8. 実践講座における人権学習開講

令和元年度の教化研修会館「実践講座」における「ともいき編」の開講にあたり、すべての人の人権が尊重されることを目指し、人権問題について宗内の教師、寺族が楽しみながら人権意識の向上に努めていただくために「楽しく学ぶ人権」をテーマ開講いたしました。全国で人権に関するワークショップ等の講演が行われている穀雨企画室代表の渡辺毅氏を講師に迎え、ワークショップと京都市東山周辺のフィールドワークを行いました。ワークショップでは、地名から想像するイメージや大人や子どもといった絵をみてどのような関係かをイメージし、どのような印象を受け、その中に偏ったイメージを持っていないかといった気づきが得られる講座となりました。



全員でワークショップをしながら
人権についての学びを深めました

その後は東山地域のフィールドワークを行い、何気ない街角に存在する差別の歴史について学ぶことができ

ました。

次年度につきましても、楽しみながら人権意識を高め
ていただけるような講座を開講してまいります。



雨の中のフィールドワークとなりました

9. 啓発グッズ第3弾 A4コットンバック配布

人権センターでは、12月4日から10日の人権週間にあわせた啓発活動として、多くの寺院の皆様
に人権を考えていただくきっかけになるよう人権啓発グッズを作成、お配りしております。

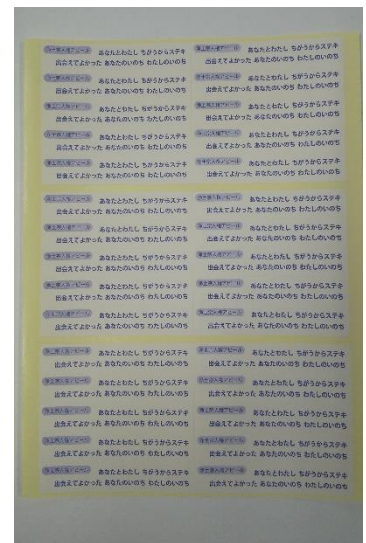
令和元年度は、浄土宗人権アピールを印刷したA4コットンバックを作成し全寺院に配布させていた
だきました。エコバックを積極的に使用していただきまして、たくさんの人の目に留まるようご活用くだ
さい。



R1 年度コットンバック



H30年度クリアファイル



H29年度人権アピールシール

10. 『和合』での人権課題に関する連載

人権センターでは、平成30年度4月号から『和合』において人権啓発に関する連載を行っています。連載では、平成30年4月号から12月号まで、『浄土宗 人権問題取り組みの足跡』と題して、これまでの浄土宗の取り組みについて人権同和啓発講師で、元同和推進事務局長でもあった出口芳演師に連載いただきました。また、平成31年1月号から1年間は『分け隔てなく、ともに生きられる社会のために』と題し、障がい者差別をテーマに、障がい者の人権問題について研究されている松波めぐみ氏により連載いただきました。

令和2年1月号から、なにげなく使用していることばや表現に潜んでいる差別表現に気付けるようにおとなの学び研究会に依頼し、『ことば・表現・差別～「あたり前」をうたがう～』と題して連載しています。

10. 人権啓発パネル展 in 大正大学(12月2～6日)・東海学園大学(1月20～24日)



大正大学でパネル展のチラシを配るなむちゃんと天台宗公式キャラクターのしょうぐうさん

平成29年度より、人権センター主催の人権啓発パネル展を開催しております。

令和元年度は、12月2日～6日まで大正大学にて「子どもの人権に関するパネル展」、1月20日～24日で東海学園大学にて「ハンセン病に関するパネル展」をそれぞれ開催いたしました。大正大学では、関係する5宗派合同での開催とし、パネル展開催期間中4日の大正大学主催成道会にてなむちゃんが、天台宗公式キャラクターのしょうぐうさん、亀有仏教会公式キャラクターのしゃかめ君と歩き、パネル展についてアピール活動をいたしました。また、5日には同時に浄土宗公開シンポジウムにも多くの方に出席いただき

子どもの貧困問題について知識を深めていただきました。続いて、東海学園大学三好キャンパスを会場に、「ハンセン病」をテーマにしたパネル展を開催いたしました。学生や教職員の方々が熱心にパネルを見学され、ハンセン病について知っていただくことができました。

令和2年度についても引き続き宗立大学において、人権啓発パネル展を実施する予定です。



パネル展を見学される来場者



シンポジウムの様子

111. 『浄土宗人権教育シリーズ』

研修会などで教材として使っていただくため、啓発冊子「浄土宗人権教育シリーズ」を刊行しています。
是非、積極的にご活用いただきたいと存じます。



浄土宗人権教育シリーズ 1
『平等へのめざめ』
平成18年11月発刊
(A5版 291ページ ¥1,296 税込)
※4部 15章構成
第一部 「部落史」に学ぶ
第二部 仏教の歴史と人間観の変容
第三部 釈尊と法然の教え
第四部 仏教教団の過誤と差別へのめざめ



浄土宗人権教育シリーズ 2
『社会がなした病 ハンセン病差別と仏教』
平成19年5月発刊 (山本正廣師著)
(A5版 96ページ ¥648 税込)
※2章構成
第一章 誤解されているハンセン病
第二章 日本人のハンセン病観の形成



浄土宗人権教育シリーズ 3
『仏教における女性観』
平成19年8月発刊 (伊藤唯真師著)
(A5版 71ページ ¥648 税込)
※3章構成
第一章 インド・中国の女性観
第二章 日本仏教での女性観
第三章 法然上人の「女人往生」思想



浄土宗人権教育シリーズ 4
『法然上人の人間観』
平成20年9月発刊 (丸山博正師著)
(A5版 78ページ ¥648 税込)
※3章構成
第一章 法然上人の文献
第二章 教義は『選択集』
第三章 み教えから探る人間観



浄土宗人権教育シリーズ 5
『業を見すえて』
平成25年9月発刊
(A5版 179ページ ¥972 税込)
※3章構成
第一章 仏教の業思想
第二章 日本の業思想
第三章 法然上人と業
第四章 まとめ
Q&A ほか

あなたとわたし ちがうからステキ
出会えてよかった あなたのいのち わたしのいのち

(浄土宗人権アピール)

令和2年4月

発行 浄土宗人権センター